

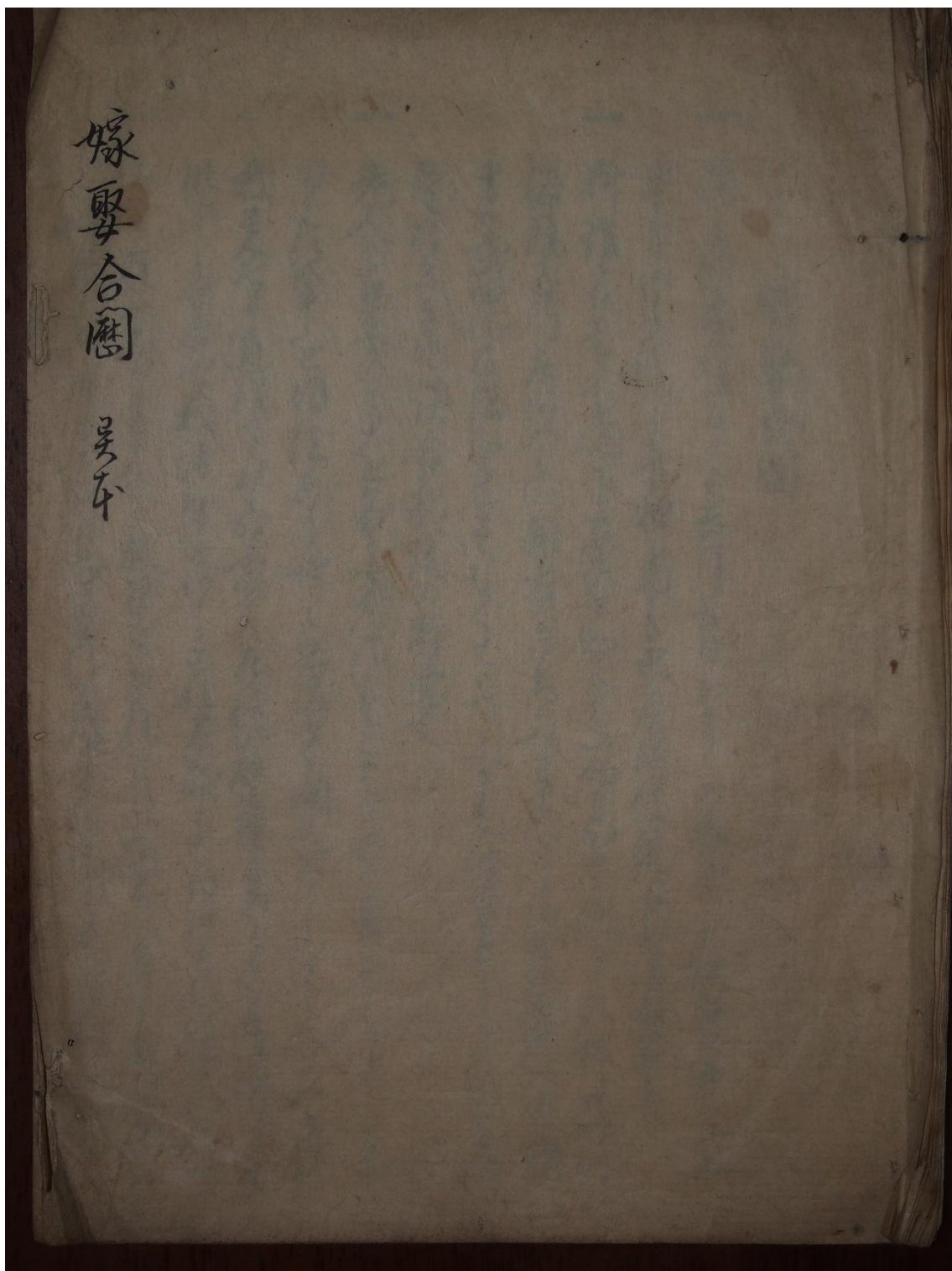
## [02] 和の文化表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1522069>

---

出版情報：和の文化. 2, 2013-03-31. NP0法人和の文化研究会  
バージョン：  
権利関係：

【資料】 飯富家文書



嫁娶合圖



一 既よ約束しどまりと昔月昔日わき人の趣をよて故實者のか  
 半よわくは 己不神物と永唐傳傳統にわね遠在る  
 一 料理方そ又庖丁家のて知りて一向かきよぶるは他は味川  
 後瓶子乃ねわりのの報者うちみよこりて愛の極めはの次  
 才と或回れな法をきをりていつくすは法ををりてはりの  
 聖なるを也 讀合和法の肝要也  
 一 老人古来のるるとをくす及ひそこそう解く云わらうと  
 かりた事と作法ありやく思ひて問人多くいよつたもこれ  
 我またる道理よわが事なれ故實もあへん高流よわ  
 似しと名もや我淺智といつてこれる事とわけもあは事といつ  
 よもこれあやうまや道理とこをれては高か人多し古歌よも  
 何事もひりしとては是をたを私と思ひてこつた





一 月日のうらなは陽うらな月日意深し 不存

一 うらなうの袋いよしうの作法 不存

一 後玄の死とまぬ中しとと合くたふあふ 不存

一 うらなうらなうの成の成 不存

一 ひるい白きひとさぬをさう者 不存

一 ぬみ 不存

一 指連りのくれ 立地のおい 前接必おくも借接

一 ぬり 立地のおい 前接必おくも借接

一 母房 立地のおい 前接必おくも借接

一 よる 立地のおい 前接必おくも借接

一 送迎の酒 立地のおい 前接必おくも借接

一 仍列 立地のおい 前接必おくも借接

一 授箱 立地のおい 前接必おくも借接



對の挨拶 傘 長刀 沖樂 佐渡箱 舟掛箱  
 佐渡箱 碁 馬 香箱 合羽 笠 上下の士

是夜おまの家長おまのちんごう者三行を平し士は悦ぶさうはこころべ  
 さん

- 一 昔い沖樂のなちよまら女はく今い先よはく
- 一 門大庭のせいしあの今もぬおこあはく ころ種と相口あはるく
- 一 炬いねとをえん少守またを海氷引をゆはく ころ存あり
- 一 次よ打合勝志をくさうとい少中まむりの事也今いふはくはま  
も少中とまふより
- 一 貝桶を海軍 婚礼の一ちもく ころ右口の中者 諸人同あ右ら  
またとつを信はく ころ右の三根遠あり  
またとつを信はく ころ又と遠を信はく
- 一 あはくとい敵のち中まはくいあはくい後ハ娘のち中まはく  
かりやうといまはくい沖樂のま方方の存まはり ころ者

一 後方の薬の本音のたよ付糸し ち若くは糸地をひき糸をさす

一 さと糸物接おろ矢 ち糸物接おろ矢

一 娘終に陰陽乃ち一欠と元三妙の神終 ち糸石のり

一 貝桶の緒乃結ひいと以葱乃結二つちよちりち中々帯の物のとく

くむすふ角きさうり

一 ちうと姑むこよあ一回の付はもかけの次難奏買より舞舞より

ちうとちうらち買より振振ち買ひこりちうとめち舞むこち

姑ちうとめちう 姑ちあちう 姑納

又

中々丈母同存の時右お解ひにまぬ中三、五度、は姑あぬ妹

ふん

又

待上稿中三娘ひに買姑ちして日存の時めうとちち解ひ次買



姑等、姑お解次、中立者のしく、とす。一、是にき、此法也。此を  
よむ。りよ、此法の、此も、き、と云、は、此、考、至、あり、但、此、せ、ご、り  
と、あ、ま、ひ、と、して、は、り、次、中、を、り、ま、て、は、は、お、又、出、た、つ、き、と、是、は、わ、て  
下、事、の、事、と

一、國と、隔、て、多、角、の、年、の、父、母、死、去、の、り、あ、ら、ば、と、家、に、お、て、た、よ  
う、れ、と、信、を、い、後、は、嫁、娶、乃、依、法、行、は、ま、く、つ、き、事、申、候、也、但  
付、法、に、依、り

一、同、娘、の、父、母、お、果、れ、た、り、の、依、り、は、り、そ、の、後、の、依、納、り、は、改、て  
嫁、娶、を、ま、く、若、し

一、あ、り、死、人、ま、く、財、の、親、の、方、へ、帰、也

右、の、三、つ、中、<sup>モロコシ</sup>華、北、作、法、日、本、を、も、は、道、理、よ、た、た、ぶ、り、ん  
物、を、付、法、ま、り、候、は、依、り

一、祓、言、し、尉、斗、包、板、の、り、た、り、の、事、と、婦、の、也、如、常、に、は、爲



小かこあり

一 又板屋の身な甲法ハむき板の定りあり之の事ハ法ハ板ハ南じき  
聲ハ東向侍上福ハ西向此屋ハ板ノ定リ是ハ理ト云母ハ女ノ何事ナ  
何事ナ

一 志うと板ノ定リノ所ハ男ハ西向板ハ東向板ハ南ノ向テ志うと女  
ノ定リヨリ

一 右ノ二色ハ理をり也其何事ナ海ラセテを

一 出ハ入ノ事ヲムシムビハ行ノ事ヲ行トシテ縁納ト云  
コト中畧

物ヲ板ノあけ板ト云板美ハ行ノ事ニ  
亦云モべらウ  
是カコノ  
あけ事ノことナリ

一 唐ノ人のゆふ板ノ神道也  
コト中畧

一 唐ノ人ノゆふ板ノ事  
是性古北風俗ニ  
コト中畧

一 志うと一ノゆかり  
中畧  
あけ事ノ事ハ或チ不レ

一 志うと板ノ事  
是性古北風俗ニ  
コト中畧

一 六百半の條に秋の行少ては冬を白木の粉ハ 冬を冬  
貝類のゆきは陰陽和合の表像と 冬を冬

一 枕子のなまよと紅を婚終る用をなまよちやうーじりー酒を  
なまよの目を見なまよのけのりけなー今のりなまよのどー  
ひさげと表しと今れりなまよのよまわされはなまよのり  
まよ乃書物よ出さうとのりさうとの秋の附さのの者有と也

一 口傳深口傳ニテ松竹ならん風射のひげもあらむとさお経と  
根りよまよりの 紙結にていふ用

一 折合條はよひと重々表像と 中若 冬を冬と表像とよまよ  
物と三燈の神室の意と活る風ハ 口傳と

一 燈の赤なるふち家をも油火と用て二赤よこもよと是と  
陽の火といふをくほのくくまの道理とて亦乃不ら日中の  
如くすら海

一 雪を雪と用て冬を冬と表しと用て二赤よこもよと是と  
匹偶ヒツカ  
袖トカナハ秋遠



一 新黄打躬腸炙は味ハ何の如しと云ふ事有り也 昔是危  
 丁の家は傳て在實の事知事ありは 中若 此傳ハ秘傳  
 送風ありと云ふ是亦いして志れが此秘極やと云ふ秘  
 一 此子の守袋の如比幸び一の白き縁之表は白を祈り寄る  
 也

若果也 紐ノ彩色傳統ハ袖ノ物トシ白右左右お遠ニ袋ニ向テ我右  
 赤ヲ彩リ有クニ外お遠ナリ

右是に對テ秘傳守の調極ハ別ニ傳授ナリ

一 此子守ノ調極の事也

此嫁娶合圖永廣通幸作ら傳ハ嫁娶合圖ハ袖ハ合お遠きと云ふ  
 既書と云ふ若く亦お遠くと云ふと云ふも換字之記を傳來し袖ハ  
 此等ハ混雜有しむと云ふ此等 兼ニ糸板存し通也

関原森經貴

右嫁娶之傳授近世難知儀昔年月為未少々令  
集録年祇宴娶之秘事之忘令之記録之糸帳之  
不可泄也其の故林少外流者也云尔

大草源理龟平朔辰

慶長三年三月吉日

虎宗

大草源理

右が書し終はは去るに不為て及ハ本支ヨ尺ハ合々  
故家より書し文假之を上下之云は假故実方し之は非々  
虎下家よりし之を分ふくは之をあるは實々書し終  
之は細く大草家虎下の家して書書ふ為に 經貴



右ノ本冊雖為秘本其版部ハ依沛然  
先書字年尤不可其他自著也

竹原勘十良

寛永七曆林録吉

惟秋

印

敏  
樹